

達成度：H31.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

## 経済環境課の目標（平成30年度）自己評価書

経済環境課長 芝野 芳弘

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 生活環境の向上（環境対策室）</p> <p>① ごみの減量化</p> <p>3R（リデュース、リユース、リサイクル）運動について活発に啓発を行い、ごみの再資源化と減量化の推進に努めます。その中で、今年度より実施する家庭廃食油の回収の実施について成果を挙げる。また、ペーパーレスの推進等により、町施設等から排出される事業系ごみの削減及び再資源化にも取り組みます。</p> <p>② 温暖化対策</p> <p>「酒々井町地球温暖化防止実行計画」に基づき、町の事務事業での温室効果ガスの発生の抑制に取り組みます。また、各家庭での省エネの実践を推進するため、環境家計簿の普及に努めます。</p> <p>③ 良好な生活環境の保持</p> <p>ポイ捨て等の防止及び埋め立て事業等について、監視と指導の強化を実践します。</p> <p>④ 自然環境対策</p> <p>町土の景観を保持し良好な自然環境を保護すべきエリア特定のため、町内自然環境のモニタリング調査に取り組みます。</p>	<p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>2</p>	<p>資源回収は、町、事業者、町民（団体）との連携により円滑な運営を行うことができました。廃食油の回収は、月を重ね搬出量が増え初年度は約300リットルの回収実績を上げることができました。タブレット端末や映写説明等によりペーパーレス会議の実施等で事業系ごみの削減に努めました。</p> <p>環境意識の向上を図り、広報やホームページで環境家計簿の取組みを啓発しましたが、効果を確認できませんでした。</p> <p>啓発看板の設置、監視カメラの設置等による監視体制の強化を図りました。</p> <p>町景観条例及び及び同計画との整合を諮るための協議の場をもつことができませんでした。</p>

<p>⑤ 環境教育の実践 イベント等で資源のリサイクルの仕組みや再生可能エネルギーの紹介など行い、環境への関心と意識向上が高められる機会を増やします。</p> <p>2 農業の振興と連携の強化（農政振興班）</p> <p>① 農村（集落）環境の整備と農地保全 国営印旛沼二期土地改良事業の推進と農村環境の向上対策である多面的機能支払制度の推進に努めます。 また、高崎川の法面崩落による護岸改修については、引き続き交付金を活用した改修工事を進めます。</p> <p>② 農業担い手の確保、育成 農業従事者の高齢化に伴い次代を担う農業者を確保するため、酒々井町人・農地プランの見直しを進めるとともに、引き続き経営改善・規模拡大のための機械・施設などの導入の支援（町担い手育成支援事業）を行い、農業担い手の確保、育成に努めます。</p> <p>3 商工業・観光の振興（商工観光班）</p> <p>① 企業誘致 企業立地優遇制度を掲載した「酒々井町企業立地のご案内」等を活用し、酒々井南部地区新産業団地と特に墨工業団地への積極的な企業誘致活動を行い、優良企業の立地を促進するとともに、生産性向上特別措置法に係る設備投資支援策をはじめとした既存企業に対する再投資支援策を進めていきます。</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>ふるさと祭りや外部イベントに環境にまつわるブースを出展し環境意識の向上を図りました。</p> <p>国営印旛沼二期土地改良事業については、事業費の将来負担を軽減するため基金の積み立てを行いました。 平成 30 年度末残高 226,064,209 円 多面的支払制度については、根古谷地区に加え、新たな地区（飯積地区）の推進を行いました。 高崎川の護岸改修については、右岸 150m の改修を行いました。</p> <p>農業担い手の確保、育成のため、町担い手育成支援事業を継続し、3 名に 1,858 千円の支援を行いました。担い手となる認定農業者の育成には結びつきませんでした。</p> <p>問い合わせのあった企業等に対し、情報提供を行い酒々井南部地区新産業団地については、区画の約 99% の土地利用が決まったが、墨工業団地については問い合わせはあるものの、依然 2 区画が未利用地となっております。</p>
--	-------------------------------------	---

<p>② 観光</p> <p>観光情報の発信充実を図るため、町の特産品をJR酒々井駅のケースディスプレイに展示するほか、酒々井プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」における特産品のPRと観光案内を強化していきます。</p> <p>また、酒々井コミュニケーションセンターの運営方法を情報発信拠点施設と併せて検討していきます。</p> <p>③ 東酒々井町営駐車場整備事業</p> <p>平成30年度は建設用地の購入を目指し、不動産鑑定の実施と地権者との交渉を行います。</p> <p>④ 情報発信拠点整備事業</p> <p>平成30年度中の建設工事完了および平成31年度からの運用開始を目標に事業を進めます。</p> <p>チャレンジ目標</p> <p>コミュニティプラザ、ハーブガーデン（コミュニティプラザ・商工観光班）</p> <p>酒々井コミュニティプラザについては、利便性の向上と維持管理費の削減を図るため、施設改修に向けた実施設計を平成30年度中に実施し、平成31年度中の改修工事完了を目標とします。</p> <p>ちびっこ天国（ちびっこ天国・商工観光班）</p> <p>本年度も引き続き休園することとなりましたが、今後の利用方法について様々な方向性を検討していきます。</p>	<p>3</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>3</p>	<p>町内事業者や町外団体の主催するイベントに出展し、積極的にPR活動を行いました。JR酒々井駅のケースディスプレイ展示については町商工会に委託し事業を実施しました。</p> <p>酒々井コミュニケーションセンターの運営方法については、引き続き町商工会に委託しました。</p> <p>土地取得費用根拠算出のため、不動産鑑定評価を実施し、用地取得のため地権者と交渉を進めましたが、合意には至りませんでした。</p> <p>施設工事は完了しましたが、平成31年度設備等の整備を行い早期の運用を開始します。</p> <p>コミュニティプラザ改修に向けて、実施設計業務の委託を行いました。改修費用の費用負担の協議は整いませんでした。</p> <p>企業等からの問い合わせについては施設を案内するが、利用には至りませんでした。</p> <p>利用方法の検討については、他市の集客施設の運営方法など視察し参考にしました。</p>
--	--	--